

大豆作付けほ場におけるヤブツルアズキの防除

福島県農業総合センター 浜地域研究所

1 部門名

普通畑作物—大豆

2 担当者

斎藤隆・小林伸英

3 要旨

ヤブツルアズキが発生した大豆ほ場では、中耕、除草剤の株間処理により発生数の軽減を図ることが出来る。また、除草剤の株間処理が困難な場合や、発生が多発するほ場では、復田することで発芽可能な種子密度を小さくすることが可能である。

- (1) 中耕を行うことにより、ヤブツルアズキの発生数は22～27%まで減少した(図1)。また、中耕と共に除草剤の株間処理(成分:グルホシネート)を散布することでほぼ全てのヤブツルアズキを防除することができた。
- (2) 水田移植時に水田の深さ5cmに埋設したヤブツルアズキの種子は、水稻1作期の間に44%まで減少した(図2)。

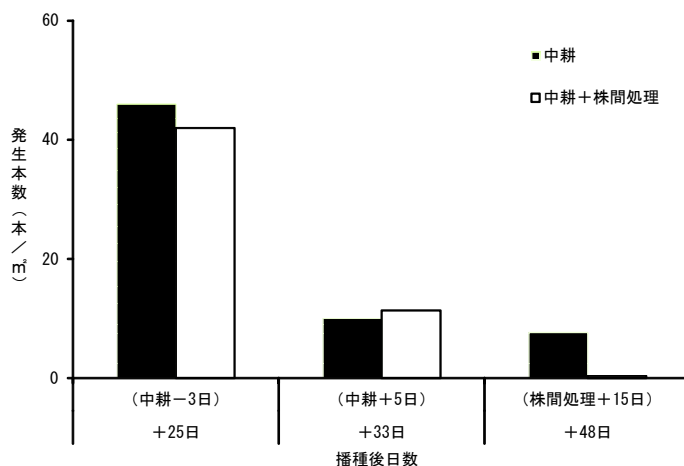


図1 ヤブツルアズキの発生本数 (2014年)

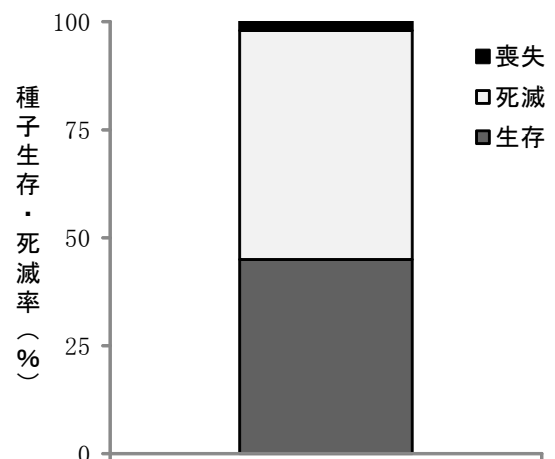


図2 ヤブツルアズキの水田条件下の埋設種子種子生存率 (2013年)

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成24年度～26年度
- (2) 研究課題名 浜通りにける大豆、麦類の高品質・安定生産に向けた技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料